

組合そくほう

信州大学教職員組合
<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~akarenga/>
全大教ホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp/>

信州大学教職員組合事務局
直通電話：0263-33-0933 (FAX 兼用)
内 線：811-2341
メー ル：karenga@kbf.biglobe.ne.jp
通算 913 号 2021 年 2 月 26 日発行

合同職懇と地区別単組代表者会・地区協議会の報告

●合同職種別懇談会の報告

合同職種別懇談会（合同職懇）が、1月23日（日）13:00～15:25に、Web上で開催され、13名が参加しました。

第1部は、昨年度に講演いただき好評であったので今回も新村正明さんに「リモートワーク・リモート授業の省力化：eALPSの便利を使って、定時に帰りましょう」と題して、eALPSの機能のうち、使うと便利なものを講演いただきました。eALPSのアナウンスメントの利用、意見収集、ダッシュボードの利用などのほか、エクセルの機械判別可能なデータの表記方法について有益な情報を提供いただきました。少しは帰宅時間が早くなれるように活用したいと思いました。なお、学生のTwitterへの「香水」の替え歌の投稿で、eALPSが出てきていることが紹介され、学生も今風だなと感心したしだいです。

第2部では、組合各支部の活動状況などの情報を交換しました。なお、今回事務局のご提案で参加者にはささやかながら信州のお菓子とドリップコーヒーパックが事前に配られて、賞味し、話題の一つに加えながら和やかなひと時を過ごせました。

●全大教 合同地区別単組代表者会議（関東甲信越地区）の参加報告

全国大学高専教職員組合（全大教）の2022年春・新歓期合同地区別単組代表者会議（関東甲信越地区）が、2月20日10:00～16:30に、Web上で開催され、参加しましたので報告します。18単組から各代表と全大教中央執行委員が約25名参加しました。

冒頭、全大教鳥畑中央執行委員長ほか中央執行委員の挨拶の後、参加した各単組代表が自己紹介して、①高等教育、②労働条件、③組織拡大の三つについて各セッションで各担当中央執行委員の説明の後に情報交換・取り組み紹介などが行われました。

① 高等教育

各担当中央執行委員から2022年度の国立大学関連予算、大学改革の動向、大学ファンドについて説明されました。ご承知のように2022年度から国立大学法人は、第4期中期目標・計画期間に入るが、従来のKPI評価が「ミッション実現戦略分」として社会的インパクトを評価されることに変更され、また、「実績等に基づき配分される部分」（いわゆる共通指標配分部分）のグループ分けが変更されることなどが文部科学省の資料などに基づき説明がありました。

また、全大教の取り組みとして、7月に「概算要求期にあたっての要望書」発出や、文部科学省の担当官との会見（3回）、財務省との会見（1回）、さらには政党議員と懇談会について報告されました。特に、文部科学省の若手の担当官との会見は、彼らがやがて偉くなったときを睨んだ長期的な視点に立っている旨も考慮しているとのことでありました。また、財務省は、「財政的な大学間の格差が固定するのはよくないとの問題意識を共有している」ようです。し

かし、「日本の大学予算は、学生数が少ないので学生一人当たりの予算は十分との認識を持っている」とのことですが、みなさんはどのように思われるでしょうか。

また、全大教として、「政府による「大学ファンド」「世界と伍する研究大学」の検討に関する見解を1月25日に発表して、問題点などを指摘しています。今後も、「選択と集中」「評価と競争」の予算配分路線を変更させるため、引き続きこれらの対話を継続するとのことでした。

② 労働条件

人事院勧告への各単組の団体交渉状況や妊娠、出産、育児等と仕事の両立支援、テレワークでの労働環境整備、育児・介護休業法の改正、長時間労働の是正などについて、話し合いました。特に、令和4年6月期の期末手当での調整することについては、不利益不遡及の原則に反すると考えられるとのこと、本組合としても、注視していきたいと思えます。

③ 組織拡大

組合なら貢献できること、コロナ禍での単組の組織拡大の取り組み、組合加入の特典、組合加入のきっかけについて説明の後、情報交換などを行いました。全大教加盟組合としても、組合員数は減少している現状がグラフでも示され、コロナ禍での組織拡大の取り組みとして以下などが紹介されました。

- ❑ オンライン学習会・懇談会・見学会・・・家族での参加、弁当配布、オンライン抽選会
- ❑ google フォーム等での声を集める・・・心情を吐露し、課題の発見に繋がる
- ❑ 屋外でのイベント・・・農場を利用したイベント、屋外での昼食会、星を見る会
- ❑ HP や Twitter などの充実
- ❑ 加入申し込みのオンライン化・・・気軽に申し込み、加入実績あり

終日の会議で少々疲れましたが、種々の情報や問題をみなさん熱心に議論して、あらためて全大教やそれぞれの単組における活動の重要性を認識しました。これらの内容は、全大教メールマガジンや全大教HPでも、配信、公開されていますので、ご興味があれば、ご確認をお願いいたします。(私もいつもチェックするまでには至りませんが)

●全大教 関東甲信越地区協議会代表者会議の参加報告

上記の単組代表者会議に引き続いて、Web上で開催されました。2021年度の活動報告、会計中間報告が行われ、2022年度の役員を選出、活動方針、予算の議事が行われました。役員は、ローテーション表から各単組が決まっています、2022年度信州大学は会計監査委員を担当することになっており、三木氏(現中央執行委員・南箕輪支部)が承認されました。よろしくお願いたします。

(中央執行委員長 榊 和彦)

全大教の「政府による「大学ファンド」「世界と伍する研究大学」の検討に関する見解」は、全大教のウェブページに掲載されています (<https://zendaikyo.or.jp/>)
※トップページの「全大教からのお知らせ」欄。

